

<先週の説教から>

『ルカ 21—聖霊と火の中へと』

武田真治牧師

ヨエル書 3:1~5 ルカ福音書 3:12~18

洗礼者ヨハネの活動について、ルカ福音書から読み進めています。7節から9節までは、ヨハネの説教が記録されています。この説教の素晴らしさは「蝮の子らよ」や「こんな石ころからでも」や「斧は既に木の根元に置かれている」等、まさにヨハネが居る荒野やヨルダン川で実際に足元にある物を「たとえ」に用いて人々に語り掛けています。故に、たくさんの人々に、彼の説教はアピールすることが出来たのでした。その影響力の大きさがよく分かるのが、この説教を聞いた人々が10節で「そこで群衆は、『では、わたしたちはどうすればよいのですか?』と尋ねた。」という点です。まさに今までの自分たちの生き方を悔い改めて、新しく生き始めることをヨハネの説教から厳しく示されたということでしょう。

考えてみれば、この『私たちはどう生きればよいのか?』という“問い掛け”は、ここだけの話ではなくて、聖書全体のテーマと言ってよいと思います。更に言えば、この問いにどう答えるかは、おおよそ、どんな宗教でも哲学や文学でも、その中心になる重要なテーマではないかと思えます。

この問いに対してヨハネの答えは『下着を二枚持っている者は、一枚も持たない者に分けてやれ、食べ物を持っている者も同じようにせよ』でした。これは余分があるものは持っていない者に分け与え、互いに分かち合えという教えだと言います。同様にこの後、「徴税人も洗礼を受けるために来て『先生、わたしたちはどうすればよいのですか?』と続いて尋ねられた時も、彼は『規定以上のものは取り立てるな』と答え、兵士からも『わたしたちはどうすればよいのですか?』と尋ねられた時も『金をゆすり取ったり、だまし取ったりするな。自分の給料で満足せよ』と答えています。これらの答えは“今置かれている場所で罪を犯さずに生きよ”というものだと言い得るでしょう。それがヨハネのメッセージでした。

ただ、私たちキリスト者としては、このヨハネの答えは直接的アドヴァイスではありません。イエス様の弟子であるペトロがペンテコステの時に語った説教に対して(ヨハネと同じようにアピールして)「人々は大いに心を打たれ、『兄弟たち、わたしたちはどうしたらよいのですか。』と全く同じ言葉で尋ねています。実は、これに対する答えこそ私たちキリスト者が為すべき行動ではないでしょうか。ペテロは『めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。』です。これは、イエス様が『わたしに従え』と言われた言葉が土台にあるのだと言い得ます。私たちは『どう生きるのか?』、それはまさに『主に従って生きること』だと、それが私たち“クリスチャンの生き方”です!

【今週の集会】

*聖書研究・祈祷会 I. 9月18日(水) 20:00
II. 9月19日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙

祈祷主題: 別帳会員を覚えて

担当者: (水) 鈴木 (木) 吉川

祈りに覚える人: 小草さん 柿澤さん

*ハンナの会 9月17日(火) 10:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男18 女43 計61
祈祷会 I. 男5 女2 計7 II. 男1 女9 計10
日曜学校 幼稚科6 小中科13 計19

【次週主日礼拝】 9月22日(日)

聖書: 申命記 10:12~16
ルカによる福音書 3:22~4:2
説教: 「ルカ23—イエス様の系図と誘惑」

武田真治牧師

讃美歌: 2(1)、32、438、543、453、
【次週当番表】 91(1)

司式: 保坂長老 奏楽: 須田 礼拝: 茨木長老

献金: 高橋 田嶋 受付: 金刺 坂田

会堂準備: 大野 勝村 黒澤 鶴巻

西尾

看板: 中村 週報: 飯島 お花: 飯島

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・お茶の会 ・牧師と語る会 ・聖歌隊練習

・礼拝/伝道/牧会/教育/社会 各委員会

週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

2024年 9月 15日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>